

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類をへい死させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で細胞 100/ml 確認されました。昨日の調査では、**栄喜 (285 細胞/ml)**、**シラハエ漁場 (920 細胞/ml)**、**一切田 (161 細胞/ml)**、**ショウジョウバエ (64 細胞/ml)**、**宿毛湾中央漁場 (6 細胞/ml)** といった宿毛湾の広い範囲でコクロディニウム ポリクリコイデスが確認されています。

一部の漁場（ヒロウラ周辺）では飼育魚のへい死等の被害が発生しています。今後、餌止めを実施するなど、飼育魚の管理には十分に注意してください。また、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（本日は、海水 1m/l でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンド リウム属	ミリオネクタ ルブラ
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①) 透明度:-m 採水時間:9:30	2	-	-	-	100	0	0	0
	5	-	-	-	75	0	0	0
	1	-	-	-	52	0	0	0
	5				54	0	0	0
	2				45	0	0	0

1：魚類をへい死させる恐れがある種 \*2：魚類を弱らせる可能性がある種

\*3：麻痺性貝毒の原因種

